

被災地支援活動に参加

5か月が過ぎようとしている東日本大震災。今なお、避難所生活を余儀なくされている方が大勢います。今後も引き続き、被災地の支援に積極的に取り組んでまいります。

職員を被災地に派遣

町では、4月3日から宮城県石巻市をはじめとする被災地避難所に職員を派遣し、被災者支援や被災地復興活動などを行っています。

町では、4月3日から宮城県石巻市をはじめとする被災地避難所に職員を派遣し、被災者支援や被災地復興活動などを行っています。

被災地への職員派遣状況

	派遣先	派遣期間	職種	業務内容等
1	岩手県大槌町	4/3～4/8 (6日間)	保健師	健康相談活動 ※被災者の健康相談・健康チェック等
2	宮城県石巻市	4/17～4/25 (9日間)	事務職員	避難所運営支援(県・市町村隊) ※物資の仕分け・整理・配給、ごみ整理、 その他避難所の維持管理
3	宮城県石巻市	5/2～5/10 (9日間)	事務職員	
4	福島県飯館村	5/21～5/22 (2日間)	医幹	
5	宮城県石巻市	5/30～6/6 (8日間)	事務職員	避難所運営支援(県・市町村隊) ※物資の仕分け・整理・配給、ごみ整理、 その他避難所の維持管理
6	宮城県石巻市	6/13～6/20 (8日間)	事務職員	
7	宮城県石巻市	6/27～7/4 (8日間)	事務職員	
8	宮城県石巻市	7/4～7/11 (8日間)	事務職員	
9	宮城県石巻市	7/11～7/18 (8日間)	事務職員	
10	宮城県石巻市	7/18～7/25 (8日間)	事務職員	

◎問い合わせ
総務課 内線211

被災地救援物資のご協力

ありがとうございます

東日本大震災に際し、多くの町民の方々から、2万点以上の救援物資の提供をいただき、県と世界子ども財団を通じて、被災地の方々に皆さんの善意の心をお届けしました。

世界子ども財団(星槎グループ)から、町民の方々のお礼と活動報告が届いていますのでご紹介します。

【町民の皆様へ】救援物資

【提供への御礼】

東日本大震災被災者の方へ救援物資のご提供を頂き、ありがとうございました。

お預かりした救援物資は、3月17日から被災地に搬送を開始し、必要な方へ直接お渡ししようとして、現在に至るまで、継続的に配布を続けております。

3月中は、主に避難所を中心に配布し、4月以降は世田谷保育室連絡協議会の救援活動と連動し、岩手・宮城県の保育園にも乳幼児用品の配布を行うとともに、各住宅地域に直接お持ちしています。支援物資をお配りすると「ありがとう」「本当に助かる」といったお言葉を数多く頂きましたのでお伝えします。

現在、「世界子ども財団」は、

原発被害に苦しむ福島県浜通り地区の教育・医療に関する支援活動を中心に行っております。

その中で、「世界子ども財団」の「医療支援班」(東京大学医学部研究科)が、住民の健康診断・健康相談を飯館村で実施した際には、大磯町スポーツ健康課医幹も大活躍されました。

多方面でご協力いただき誠にありがとうございました。

詳しい活動内容は、ホームページまたは、役場に置いてある報告書をご覧ください。

星槎グループ/一般財団法人世界子ども財団
<http://www.fgc.or.jp/>

【主な配布場所】

岩手県、宮城県、福島県内の保育園、幼稚園、老人ホーム、避難所、被災住宅地域など40施設以上

【主な配布物資】

絵本、遊具、乳幼児用衣類、紙おむつ、食品、水、お菓子、靴、生活雑貨、教科書、文具など



◎問い合わせ
保険福祉課 内線303